

ゆめクラブ藤沢

パソコン教室 テキスト

(初級)



本テキスト編纂にあたり、
藤沢市IT講習会テキスト
を参考にさせて頂きまし
た。この場を借りて感謝の
意を表したい。ありがとう
ございました。

目 次（初級）

〔 パソコンの基本 〕

1. ウィンドウズ(Windows)の基本画面
2. マウスの操作
3. マウスポインタの形状
4. ソフトの起動方法1(ペイントを起動)
5. ソフトの起動方法2
6. ウィンドウの操作1(拡大・縮小)
7. ソフトの終了
8. パソコンの終了

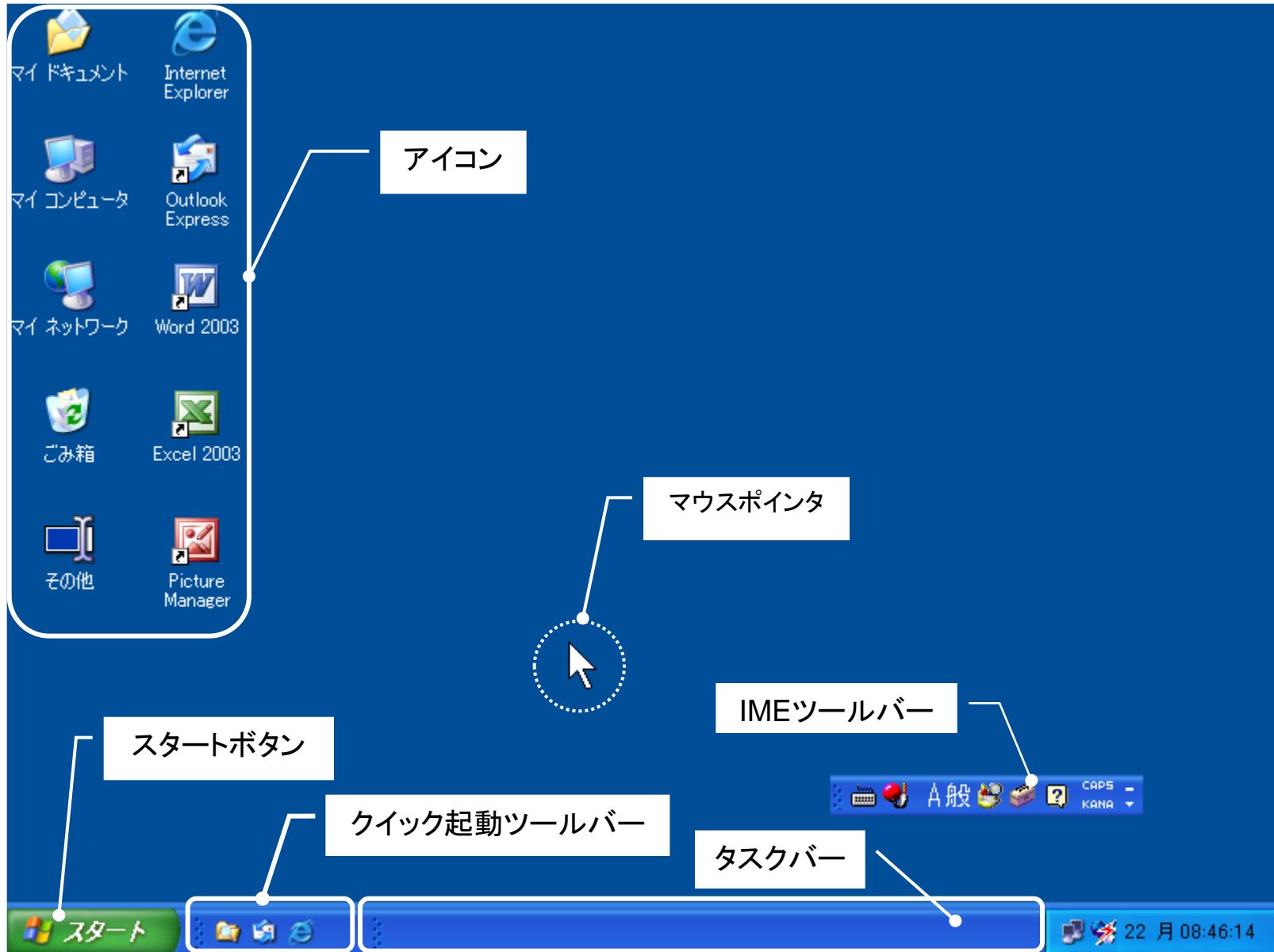
〔 キーボード入力 〕

9. キーボード配列と機能
10. 基本的なローマ字での五十音表
11. 日本語入力の基本(ワードを例として)
12. 文字の取消・削除
13. ファンクションキーでの変換(F6~F10)

付録1:ローマ字五十音表

付録2:練習しましょう

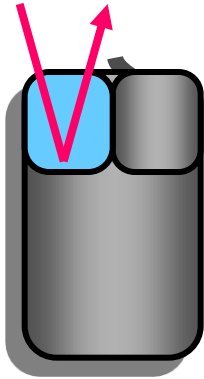
Windowsの基本画面



マウスの操作

クリック

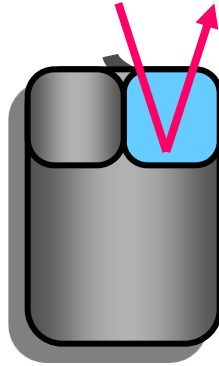
メニューの選択、実行



カチッ

右クリック

プルダウンメニューの表示



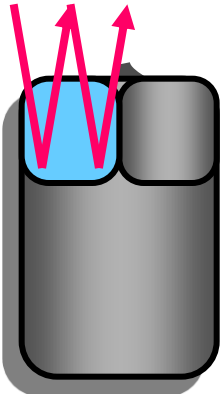
カチッ

マウスのスクロールボタン

スクロールボタンを前後に回転させると、マウスポインターの位置の画面が垂直スクロールする。

ダブルクリック

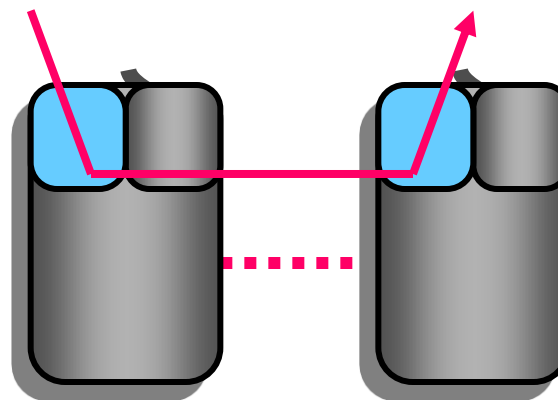
アイコン等の起動



カチッ カチッ


ドラッグ&ドロップ

ウィンドウ、アイコン等の移動



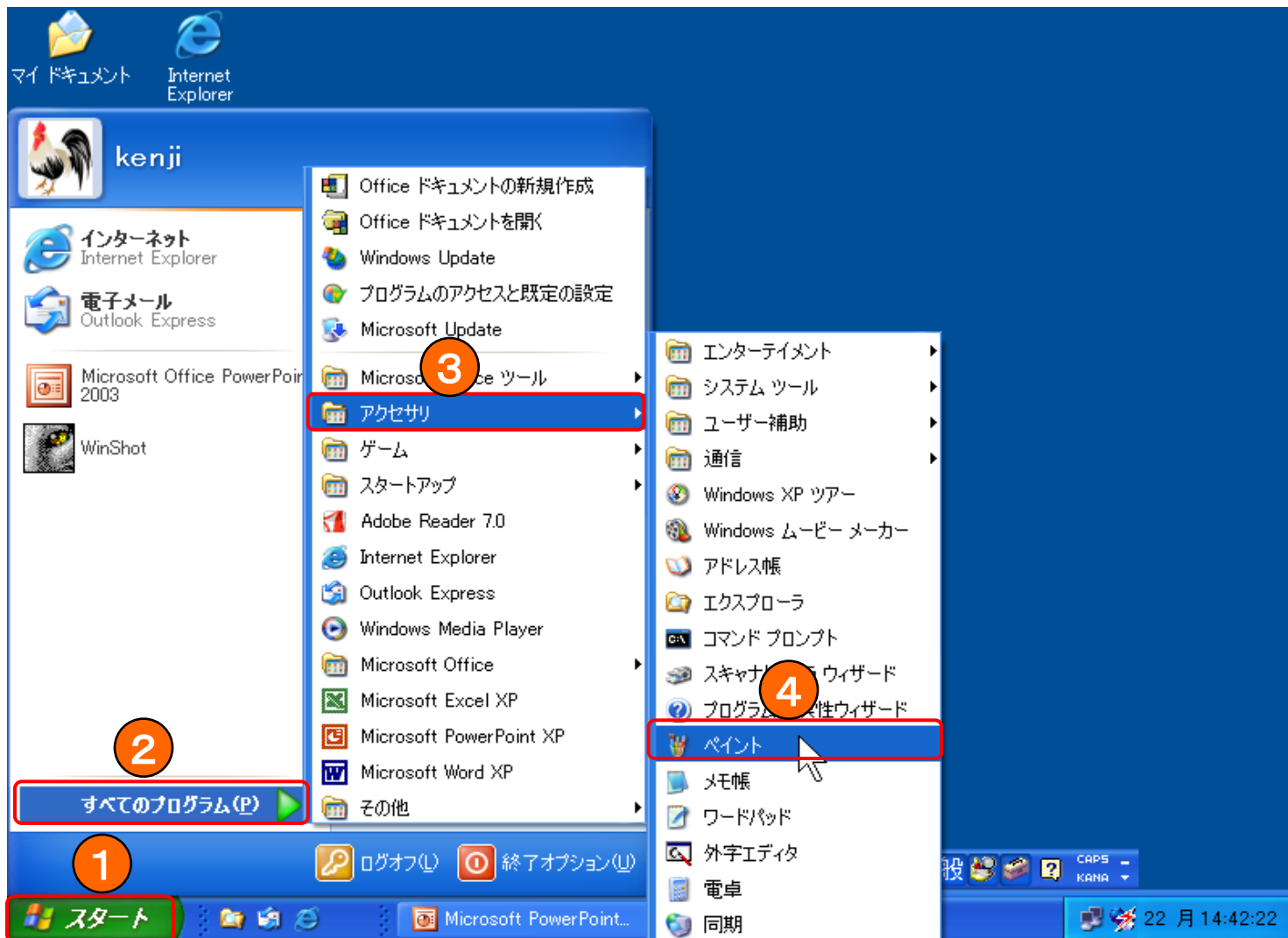
カチッ ズルズルー カチッ

マウスポインタの形状

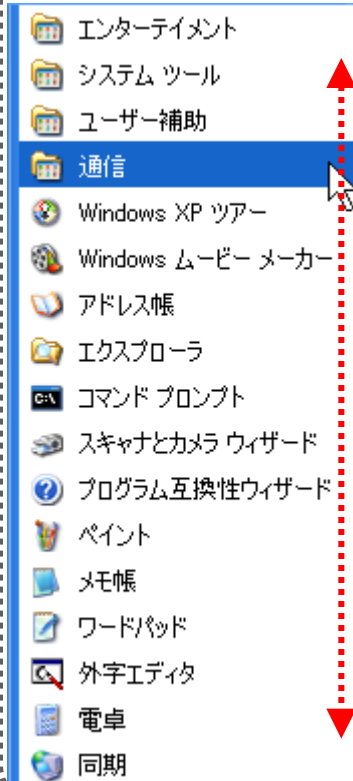
	通常の選択		上下に拡大縮小
	待ち状態		左右に拡大縮小
	バックグラウンドで作業中		斜めに拡大縮小
	領域選択		移動
	テキスト選択		リンクの選択

ソフトの起動方法 1(ペイントを起動)

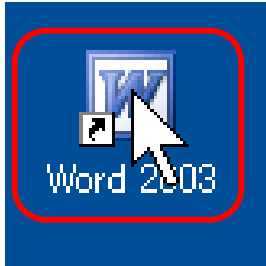
1. 「デスクトップ画面」で① [スタート] → ② [すべてのプログラム] → ③ [アクセサリ] → ④ [ペイント]をクリック。



ブロック内を上下にマウスポインタを移動させる時は、右端を移動させると次のブロックに移り易い。



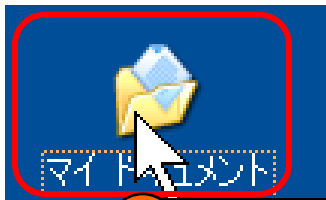
ソフトの起動方法 2



「デスクトップ画面」で[Word2003] アイコンをダブルクリックする。
(目的のアイコンをクリックし、[Enter]キーを押しても良い)



「クイックツールバー」の アイコンをクリックする。



1



2

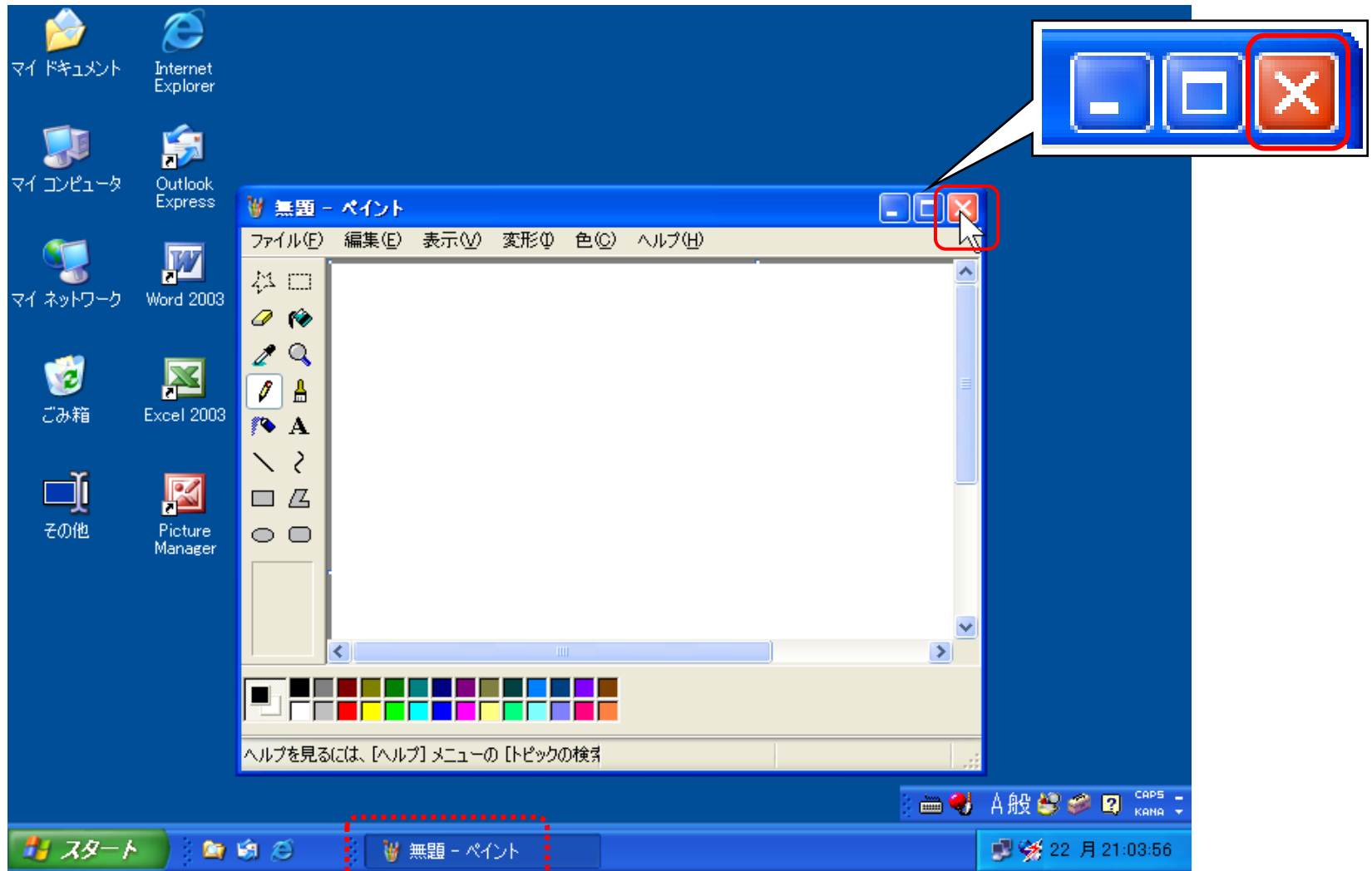
1. 「デスクトップ画面」で①[マイドキュメント] アイコンをダブルクリックし、「マイドキュメント」を開く。

2. 保存されている②[ファイル名のアイコン]をダブルクリックする。

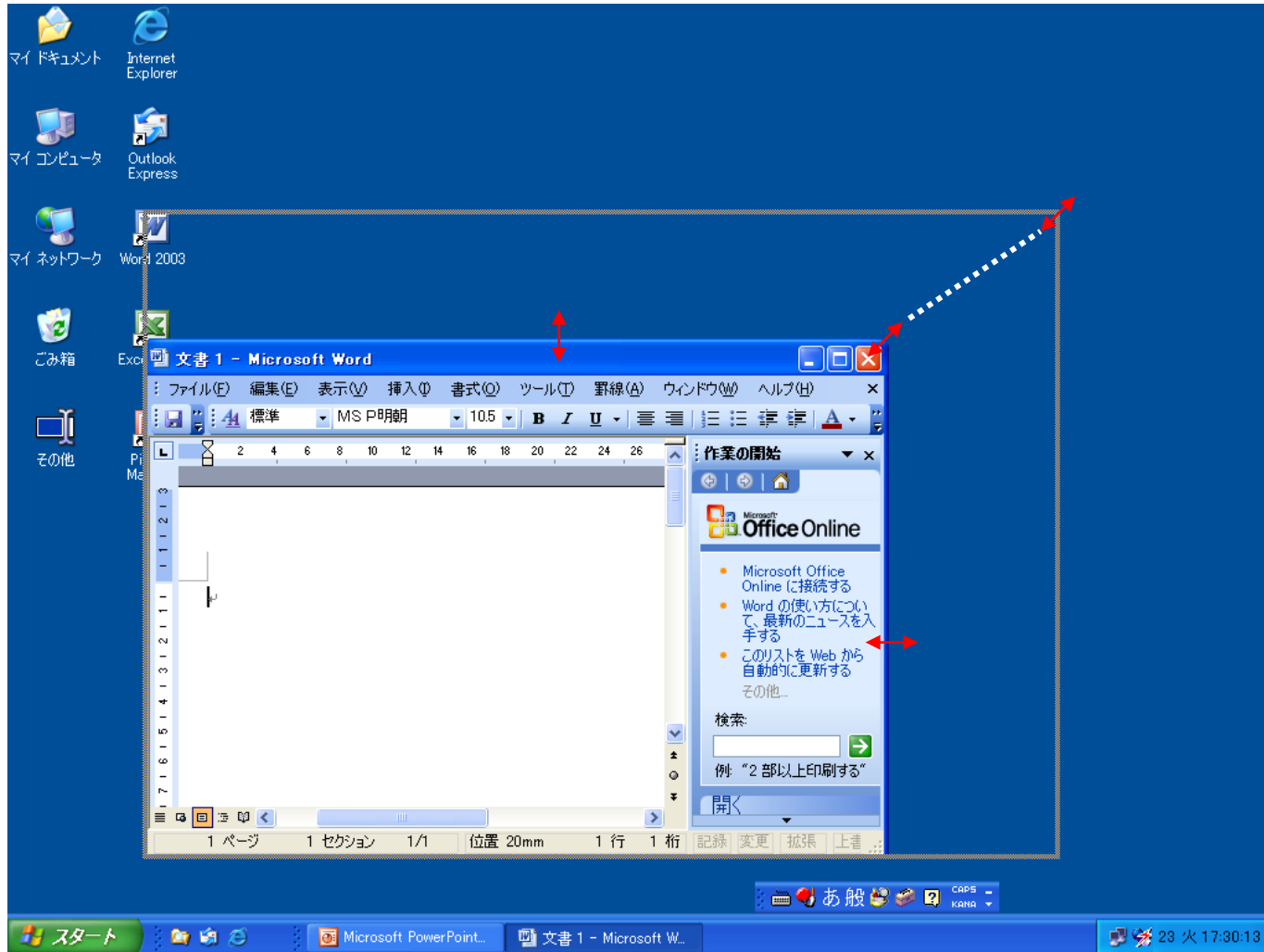
(関連つけられたソフト(ここではWord)が起動する)


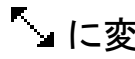
ソフトの終了

1. ウィンドウの右上にある「閉じるボタン」「×」をクリックする。ウィンドウと「タスクバー」の表示も消える。





ウィンドウの操作1 (拡大・縮小)



1. ウィンドウの4頂点にマウスポインターを合わせると、ポインター形状が  又は  に変わる。

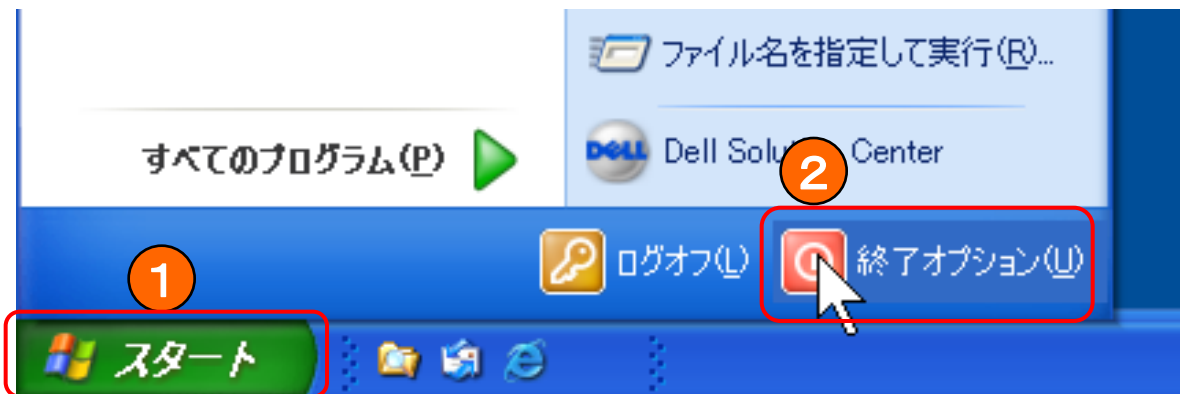
この状態で、ポインターの示す矢印方向にドラッグすると、縦横ともに拡大、縮小する。

2. ウィンドウの4辺にマウスポインターを合わせると、ポインター形状が  又は  に変わる。

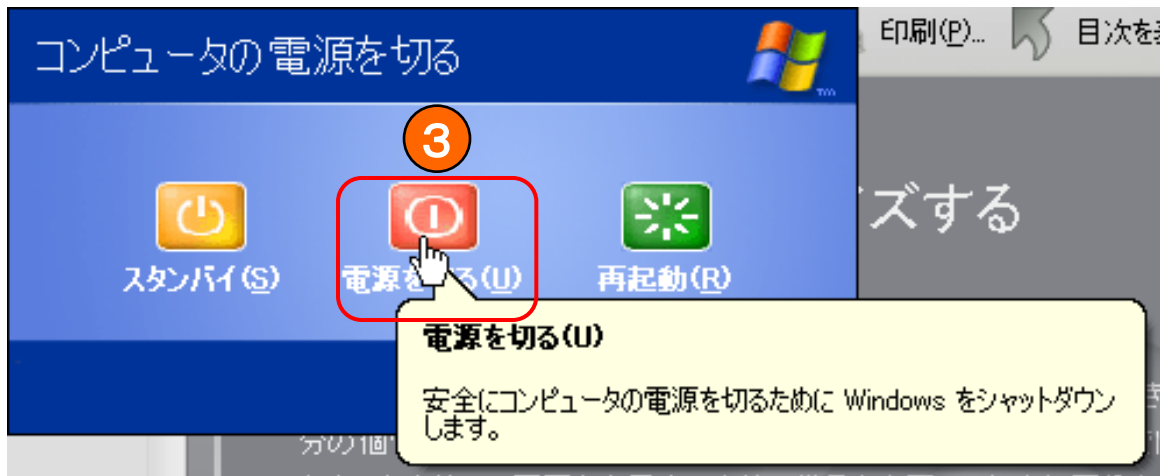
この状態で、ポインターの示す矢印方向にドラッグすると、縦又は横が拡大、縮小する。

パソコンの終了

1. 「デスクトップ画面」で①[スタート] → ②[終了オプション]をクリックする。



2. 「コンピュータの電源を切る画面」で③[電源を切る]をクリックする。



3. 「電源ランプ」が自動で消えるまで待つ。



安全にコンピュータの電源を切るために Windows をシャットダウンする。

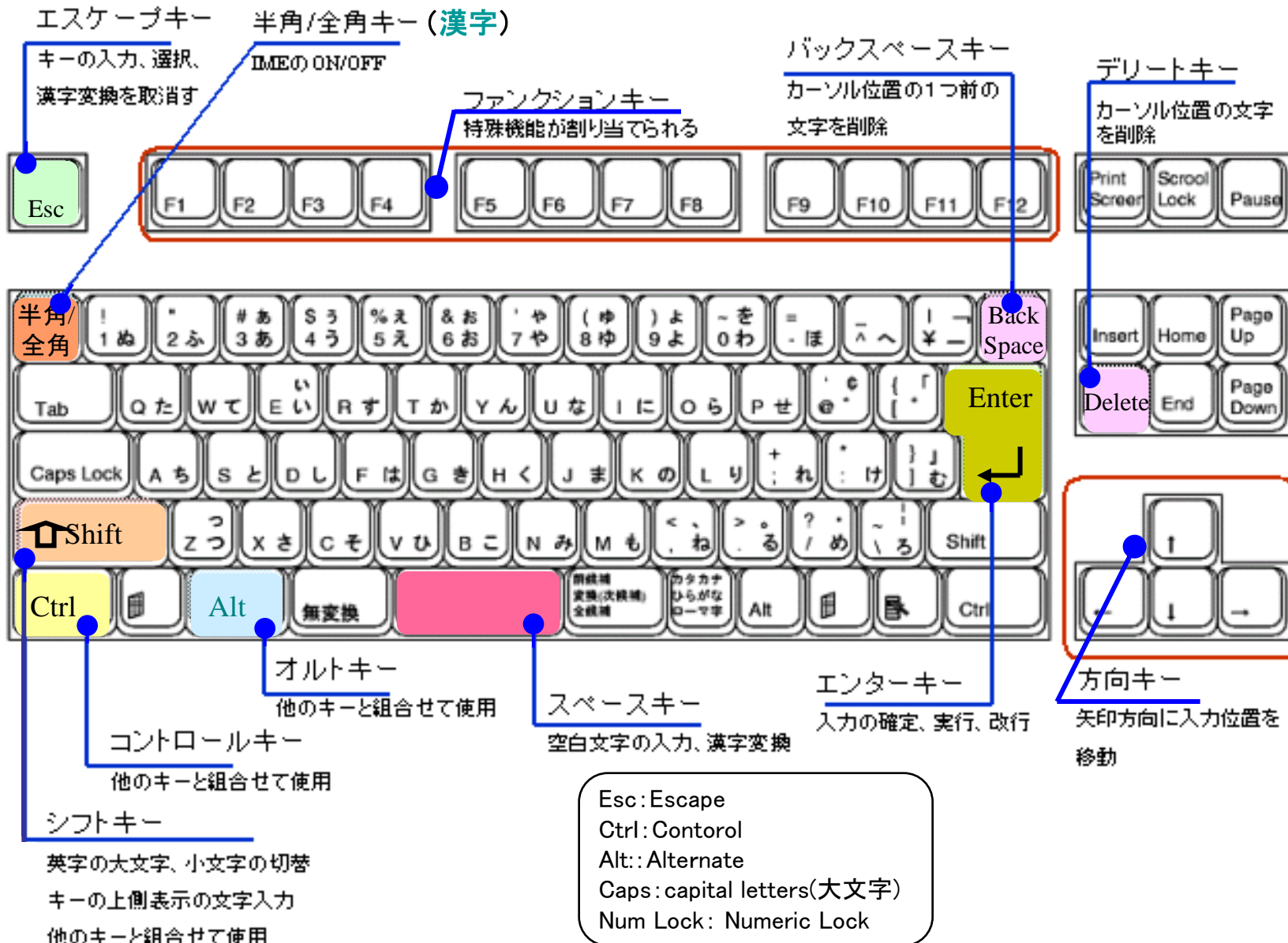


Windows をシャットダウンし再起動する。電源は切れない。



Windows を休止し、低電力状態にする。電源ボタンを押せば復帰する。

キーボード配列と機能



基本的なローマ字での五十音表

母音

あ : A い : I う : U え : E お : O

Q W E R T Y U I O P
A S D F G H J K L
Z X C V B N M

子音 (あ段のみを例示)

か : KA さ : SA た : TA な : NA は : HA
ま : MA や : YA ら : RA わ : WA

Q W E R T Y U I O P
A S D F G H J K L
Z X C V B N M

濁音・半濁音 (あ段のみを例示)

が : GA ざ : ZA だ : DA ば : BA ぱ : PA

Q W E R T Y U I O P
A S D F G H J K L
Z X C V B N M

ん : NN 句点 。 : 「る」のキー

を : WO 読点 、 : 「ね」のキー

小書き文字 (普通文字の前にLを入力)

あ : LA い : LI う : LU え : LE お : LO

っ : LTU や : LYA ゆ : LYU よ : LYO

促音 : 同じ子音を2度入力し、母音を入力すると小書きの“っ”になる。

例 : にっき : NIKKI もっぱら : MOPPARA

っと : TIO っざ : ZZA

い段にや行の促音が続く場合の省略形

しゃ : SILYA → SYA (ILを省略、子音をSYと仮定)

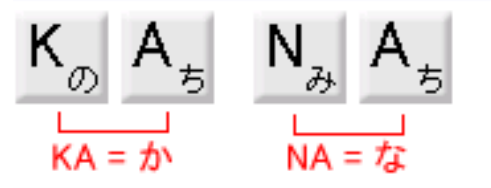
ぎゃ : GILYA → GYA (ILを省略、子音をGYと仮定)

(注) 子音がF、Jの場合は特殊

日本語入力の基本 (Wordを例として)

日本語入力ができる状態にする

言語バーが **あ** になっていることを確認する。 **A** になっていたら、「半角/全角」キーを押し、 **あ** に変える。

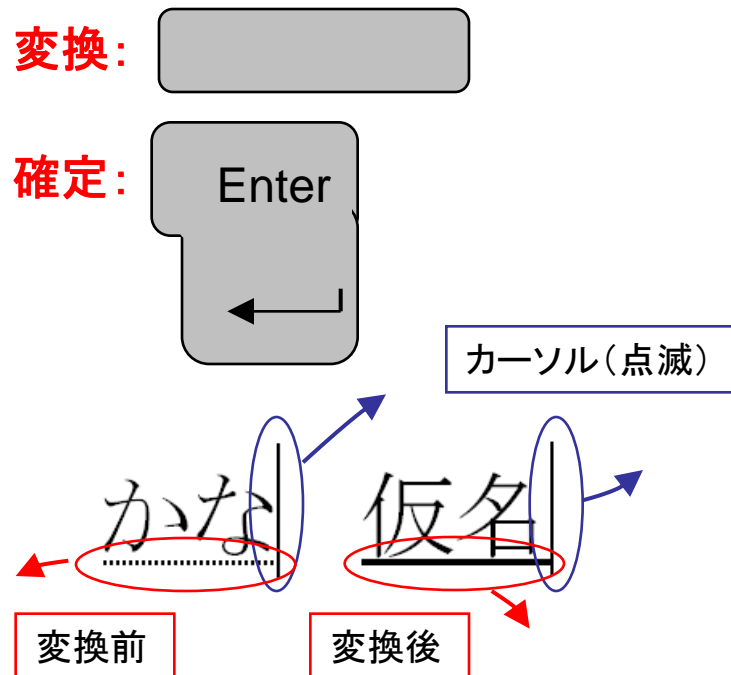


読みを入力する

キーボードから「KA=か」「NA=な」キーを押し「かな」と入力する。

変換する

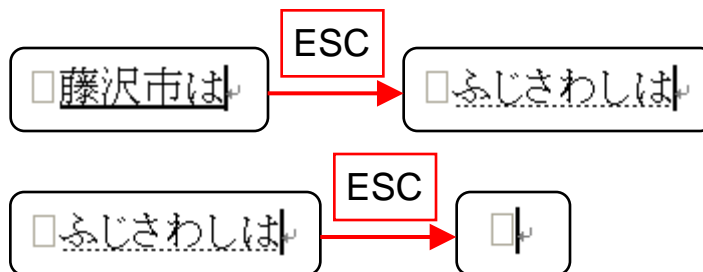
1. 文字の下に点線が引かれた未確定状態になる。
2. 「スペース」キーを押す毎に「かな」が変換される。
3. 「Enter」キーを押し確定する。



文字の取消・削除

1. 確定前の取消

1. 変換後:[ESC]キーを押すと変換前に戻る。
2. 変換前:[ESC]キーを押すと入力前に戻る。

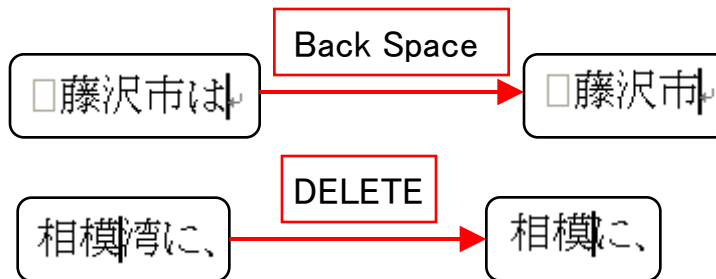


ツールバーの アイコンをクリックすると、直前の操作を取り消す。(確定前後に無関係)

[ESC]キーは命令の取消を実行する。

2. 確定後の削除

1. [Back Space]キーでカーソルの前の文字を削除。
2. [Delete]キーでカーソルの後の文字を削除。



3. 文字列を選択し、[Delete]キー又は[Back Space]キーを押す。

注) 編集記号の削除

空白文字 : 1文字分詰まる。

改行 : 改行の取消。

藤沢市は南は相模湾に面し、北は相模原台地の緩やかな丘陵が続く気候温暖な自然環境に恵まれたまちです。・+

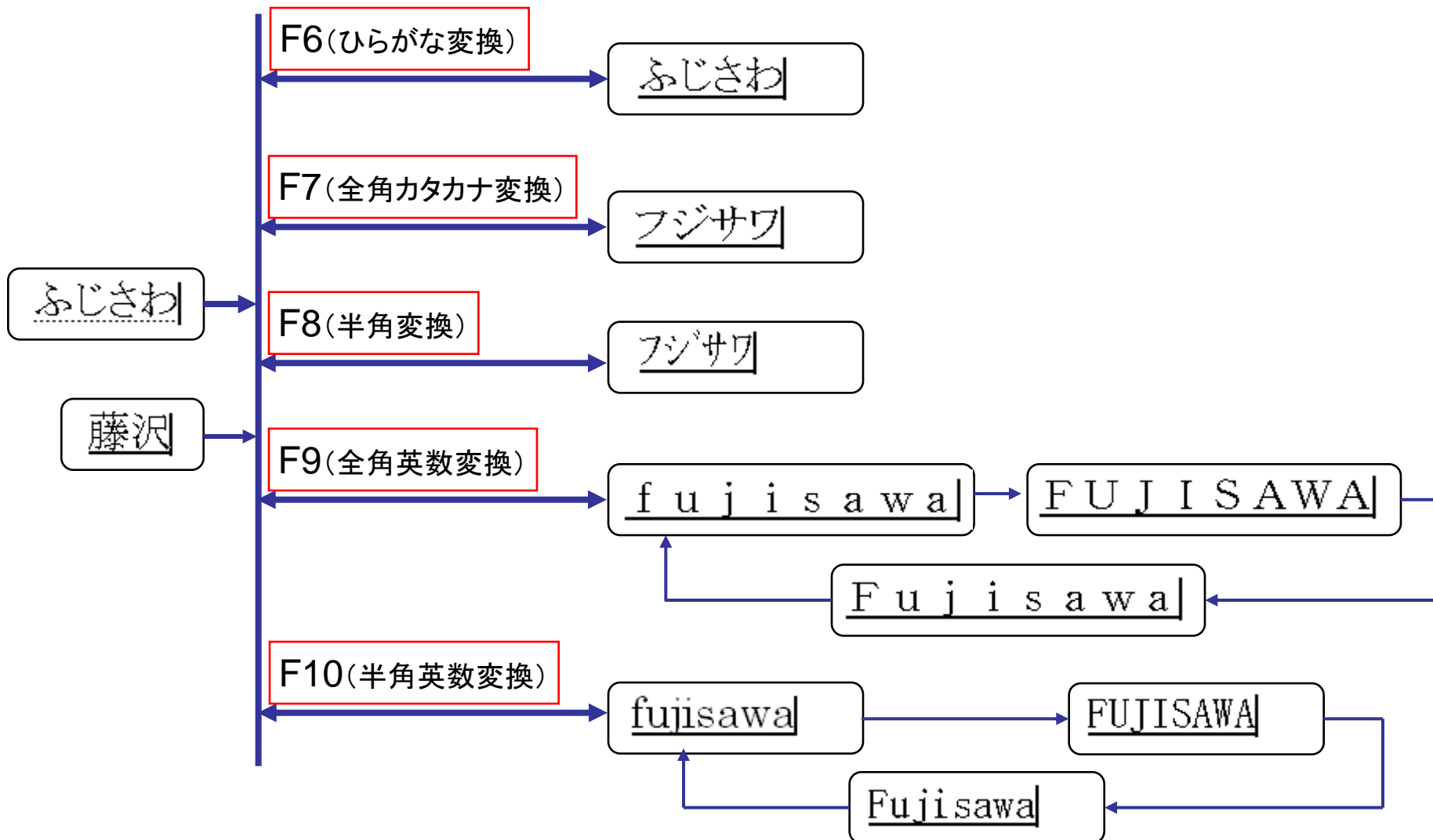
中世に遊行寺の門前町として始まり、江戸時代には東海道五十三次の一つ、藤沢宿としてまた江の島詣の足場として発展してきました。・+

↓ DELETE 又は Back Space

藤沢市は南は相模湾に面し、江戸時代には東海道五十三次の一つ、藤沢宿としてまた江の島詣の足場として発展してきました。・+

ファンクションキーでの変換(F6~F10)

変換はスペースキーで行うが、確定前であればファンクションキー(F6~F10)でも変換できる。



付録1: かな・ローマ字対応表

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	きゃ		きゅ	きえ	きよ
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
	しゃ		しゅ	しえ	しよ
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
	ちゃ		ちゅ	ちえ	ちよ
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
	にゃ		にゅ	にえ	によ
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
	ひゃ		ひゅ	ひえ	ひよ
	HYA		HYU	HYE	HYO
	ふぁ	ふぃ	ふ	ふえ	ふぉ
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
	みゃ		みゅ	みえ	みよ
や行	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO
	ゃ		ゅ		ょ

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	りゃ		りゅ	りえ	りよ
	RYA		RYU	RYE	RYO
わ行	わ				を
	WA				WO
ん行	ん				
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
	ぎゃ		ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA		GYU	GYO	GYO
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	じゃ		じゅ	じえ	じよ
	JA		JU	JE	JO
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

◆促音（文中にある小さな「つ」）

促音の後ろの文字の子音を重ねて入力する

【例】

ひっこし → HIKKOSI

もっばら → MOPPARA

◆カタカナで良く使われるもの

ヴァ	ウイ	ウオ
VA	WHI	WHO

【例】

ヴァイオリン → VAIORINN

ウォーキング → WHO-KINNGU

付録2： 練習しましょう (IT講習会テキストから転記)

◇p.41英字(言語バー “A”、大文字はShift+)

WindowsInternet ExplorerOutlook Express

◇p.51漢字 (以下、言語バー “あ”)

“自分の氏名”

木 赤 空 海 山 川 顔 花 机
練習 特徴 写真 蒸留 解凍 出席 専用
北海道 講習会 優柔不断 不言実行 弱肉強食

◇p.53カタカナ (かなを入力してSpaceまたはF7キーを打つ)

ベル タイプ ワイン
ステッキ スピーカ スーツケース フィアンセ ロケット
ケチャップ シャッター リュックサック チェック セキュリティー オプション

◇p.100

今日も練習しましょう。キーボード

◇p.109 (誤りやすい日本語、短文 (う(u)、お(o)、わ(wa)、は(ha)、を(wo)、づ(du)、ぢ(di))

氷 私は 私を 宝石 王様 全員 通り日付 鼻血
小遣い お姉さん 入れ知恵
今日は、いい天気。
最終電車で飛び乗った。
パソコン講習会に参加。
伊豆旅行の日程が決定した。
夜中に電話のベルが鳴った。
去年買った自転車が壊れたので修理した。
料理の本を見ながら初めて料理を作った。
名前を呼ばれたので、「はい」と返事をする。
昨日、藤沢の本屋で芥川賞作家の本を買った。
貴社の記者は汽車で帰社されました。